

県連安全登山講習⑤ 雪山登山者のための実技講習受講A) B) を希望される方、再度ご確認ください。☆☆装備、受講資格等につきまして、若干変更がございます。

A) 雪山登山者のための実技講習会 《雪山歩行訓練》

※参加条件：雪山(ラッセルを含む)を歩けるだけの体力のある方。

※実技講習の内容は、当日の雪質・参加者のレベルに合わせて行ないますので、会を問わず参加できます。

■日時：2月19日(土) 8:00～15:00 大山情報館 集合解散

■場所：大山元谷周辺

■内容：雪山登山に必要とされる歩行技術とルートファインディング、状況判断、ラッセル技術、スノーシューの使い方他、
※歩行技術・・・登行・下降・トラバース・斜登行

《個人装備》 冬山用登山靴、冬山用衣類(ハードシェル上下)、スノーシュー、雪用ダブルストック、ピッケル(ノーマルタイプ)、ウールインナー、ウール手袋2(替え1含む)、オーバーミトン、ウール靴下2(替え1含む)、行動食、飲み物、雨具ズボン(着古したもの、又はビニールカップ)
その他：スノーシャベル(持っている人のみ)

B) 雪山登山者のためのビバーク訓練

※参加条件：冬山登山経験者。

■日時：2月19日(土) 15:00 大山元谷小屋 集合 ～20日(日)12時 解散

■場所：大山元谷周辺

■内容：危急時対策・・・ビバーク地の選定とビバーク方法 雪山での生活技術
ツェルト、または雪洞でのビバーク技術

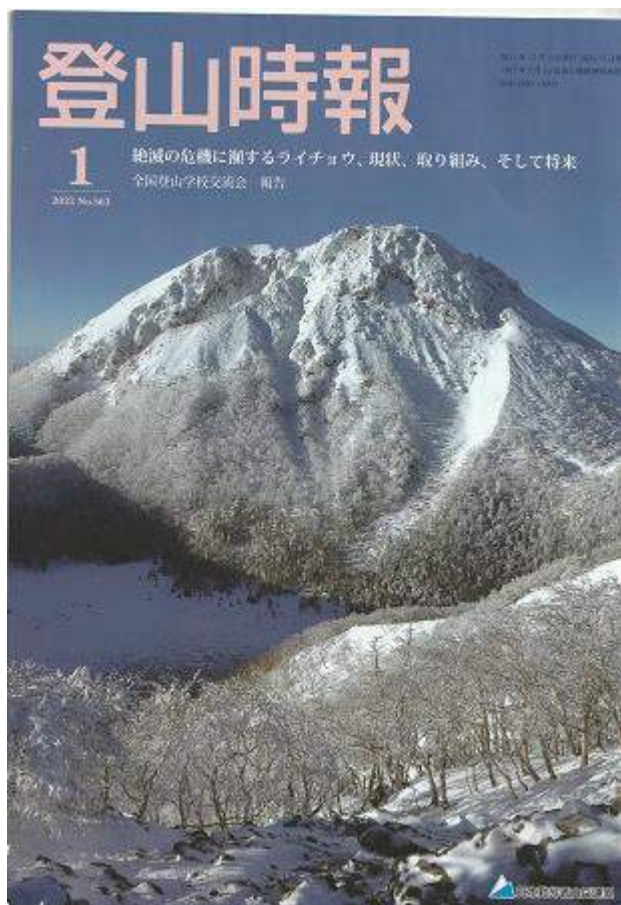
《個人装備》 ウール手袋3(替え2含む)、オーバーミトン、ウール靴下3(替え2含む)、ツェルト(2～3人用が望ましい)、シュラフ、シュラフカバー、マット、コッヘル(アルミの物)、コンロ(各自)、ガスカートリッジ(標準サイズ1個)、スノーシャベル、食料(夕食・朝食)、 その他は、A)と同じ
※共同装備を個人装備に変更させていただきました。

A) 日程、B) 日程のどちらかで受講して下さい。

但し、県連雪山講習会を何度も受講されている方、雪山テント山行を実施されている会の方で、両方受けたい方につきましては、こちらで判断させていただきます。

申込閉切り 2月10日(木)





- 01 連載 中国の青いケン探訪記 松本秀和
- 02 絶滅の危機に瀕するライチョウ、現状、取り組み
そして将来
富山市ファミリーパークの取り組みから
- 04 連載 山を楽しむ写真講座 宮本宏明
- 08 連載 白神便り 原田勇成
- 10 ふみあと 第35期定期総会に向けて 浦添嘉徳
- 11 連載 子連れさんぽ 武井真理
- 12 第3回全国登山学校交流会 報告
- 20 連載 山の温泉講座 古田靖志
- 22 連載 アドベンチャートラベル 大蔵喜福
- 24 連載 山登りのためのやさしい気象講座
野尻英一
- 26 連載 事故防止は仲間の知恵で
疋田吉継・中川和道
- 28 専門委員会活動報告
- 31 全国連盟の活動
- 32 マンガ フウフウハアハア 村松孝一

- 33 インタビュー ひと 篠塚優さん
- 34 連載 地図読み迷人
宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 連載 会・クラブ紹介 佐伯山の会
- 38 ミニガイド 双石山（宮崎県） 長友一彦
- 39 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう
あらかると 石井光造
- 40 連載 山の自由帳 篠塚優

絶滅の危機に瀕するライチョウ、 現状、取り組み、そして将来

国内希少野生動植物種に指定されている特別天然記念物のライチョウの推定個体数は、1980年代の3000羽から2000年代には2000羽弱に減少しており、2014年公表の第4次環境省レッドリストでは「近い将来、野生での絶滅の危険性が高い」とされる絶滅危惧種IB類（EN）に指定されています。また、南アルプスの個体群が絶滅の危機に瀕していると言われています。

本誌はこのようなライチョウの危機的な状況を踏まえ、ライチョウの置かれている現状、個体数増加に向けた取り組みなどについて、ライチョウの飼育繁殖で知られる公益財団法人富山市ファミリーパーク公社の村井仁志園長にお話を伺いました。

（本誌・酒井正裕）

以下本誌、登山時報2022年1月号をお読み下さい。

山の会の文化系サークル紹介

倉敷ハイキング倶楽部 谷川 治

お正月が明けて、4日に山陽カルチャーマウンテンクラブの山遊スケッチサークル主催の作品展を見に行きました。実は別の目的もあって、私が県連50周年記念誌の編集長もしている関係で、その表紙等にスケッチを提供頂くことをクラブのS会長にお願いすることがありました。サークルは2015年7月に設立されたそうで、今回の作品展には23名の方が出展されていました。

昨年、この作品展を見させて頂いて、良いなあと感動して、私が編集長をしている労山おかやまの表紙に投稿をお願いしました。サークルは月1回の例会で研鑽を図っているとのこと。昨年の作品展はダイナミックな構図が多かったような気がしますが、今年は暖かい色彩に富んだ作品が多かったように感じました。2月6日(日)まで、岡山市街地北の坂野記念館(北区栢谷1039-1)で開催されています。ご興味のおありの方は、是非ご覧ください。駐車場は十分あります。

山に行かれる方の動機は様々で、山に登ること自体が目的の方ばかりではありません。スケッチや写真がその一つの目的の方も、私は本を読んだり、音楽をしたり、絵を見たりが好きで、その息抜きに山に行きます。

標題に文化系など時代錯誤の用語を用いましたが、私の高校時代のクラブは運動部と文化部に分かれていましたね。山の会は完全に運動系ですが、その中に文化系サークルがあるのが面白いですね。

実は倉敷ハイキング倶楽部(KHC)の中にも文化系サークルがあります。音楽のオカリナサークルです。私はKHCに入会した2013年に参加しました。2011年からフルートを習っていたので、オカリナは簡単に習得できました。

歴史を紐解くと長くなるのですが、KHCの2014年4月の総会で演奏したところ、会員から上手くないぞとの指摘を受け、2015年1月から「オカリナやまびこ」3名でオカリナのプロの方の指導を毎月1回受け始め、今に至っています。サークルメンバーは少なくなり精鋭になってしまいましたが、その代わりに毎年オカリナ教室を開催して会員の方の支援をしています。

その結果、その生徒の方3名が次々と参加頂き、今6名のメンバーで活動しています。1名は元々ギタリストですので、曲の選択枝も増えています。

もちろん山の会のサークルですので、依頼があれば山の上での演奏や歌の伴奏もしています。私は、立山、白山と木曾駒の上で息を切らして…空気が薄くて鳴りが悪いので頑張る…会の皆さんの歌の伴奏をしました。

また、老人ホーム等での演奏もしていますが、メインは全国で行われているオカリナ発表会への参加です。また、吉備青少年自然の家で毎年合宿をして、実はオカリナ以外の楽器も得意な方がおられるので、それらも含めた合奏を楽しんでいます。

良かったら聴いてください。(YOU TUBEでオカリナサークルKHC) 昔、下手くそと言われた時からは変身していますよ。

県連参加の会から2会のサークルを取り上げましたが、他の会もご連絡ください。私、労山おかやまの編集長をしていますので、取り上げさせていただきますよ。



2021年度第7回理事会報告

2022年1月14日作成

日時：2021年12月22日(水) 19:00～21:00

場所：ゆうあいセンター 会議室

1、報告

(1) 会計報告(久世会計部長)(各理事に送付済)

*4期分会費、カレンダー代金全国連盟に送金済

(2) 全国連盟行事について

イ) 第22回全国ハイキングオンライン交流集会
(笠井ハイキング副委員長)

・11/27(土) 午後1:00～5:00

・盛重ハイキング委員長、笠井ハイキング副委員長出席(労山おかやま1月号掲載)

*岡山県連として県連50周年記念交流ハイキングの開催報告、吉備路の山全山縦走大会への参加の呼びかけをした。

2、議題

(1) 50周年記念事業計画について

イ) 記念誌の編集・発行＝記念誌委員会(谷川機関紙委員長)

・第2回記念誌委員会は10月30日(土)

13:30～ ゆうあいセンターで開催

記念誌は3月末までに発刊予定

・詳細分担、担当者決定。

・労山おかやま掲載記事より、選定して載せる。

・ページの隙間にスケッチ等を入れる。

・12月2日に第3回会議をZOOMで開催、引き続き1/7、2/11に開催予定。

ロ) 記念講演会(小林副会長)

・山本正嘉先生講演 タイトル「安全な登山のための体づくりと山での疲労対策」、
オプション：実技「登山体操」

・3月5日 10:00～ 岡山国際交流センター 8階イベントホール

・募集案内は労山おかやま1月、2月号掲載

・50周年記念講演会実行委員会を1月に開催予定。(各会委員11名)

*募集定員140名 次回理事会までに各会で参加人数とりまとめ報告。

*1月24日(月) 19:00～実行委員会ZOOMで開催予定。

(2) 安全登山講習 教育委員会(加治)

イ) 気象講座 2022年1月15日(土)

講師：猪熊隆之氏(谷口教育副委員長)

・労山おかやま12月号掲載 観天望気、座学実施 40名程度募集 ・9:00～観天望気(高野ちびっこ広場)、13:00～座学(生涯学習センター)

・12月15日現在の申し込み状況 47名

*座学のみ若干余裕あり。

ロ) 雪山講習 2022年2月19日(土)・20日

(日)・3月26日(土) 大山 講師 近藤邦彦氏(加治)・労山おかやま1月号掲載

出席者：13名 欠席者：0名 全：13名

2月・ルートファインディング・ラッセル
技術、ビバーク技術

3月・ピッケル・アイゼンワーク

*中地協に案内をする。

(3) 全国連盟行事について

*2月19、20日 全国連盟総会 岡山県連から3名参加予定。

(4) 全国連盟組織数登録及び栄誉功労章の申請(加治)

イ) 組織数 所属各団体の11月末現在の会員数を12月25日までに報告

・二つの会に所属している人をどうするか。

*来年度検討、各会で判断。*全国連盟確認→各会でカウントしているのでかまわない。

ロ) 栄誉功労章 労山運動の前進に功績のあった会員 岡山県連3名 12月31日までに

・県連より2名申請予定、久世、谷川県連理事。

永年会員章 労山会員として20年以上在籍し、かつ現在においても会員である

・全国連盟への申請は、県連でまとめて提出する。各会該当者は、倉労5 みまさか2

THD4 KHC3 PFC4 MONTATA1
SCMC13

(5) 各委員会の開催

*3月までのできるだけ早い時期に開催を。

(6) 次号「労山おかやま」の編集案提案と記事原稿分担(谷川機関紙委員長)

編集案に沿って協議。原稿締め切り 1月19日(常に印刷の1週間前) 印刷は 1月26日(水)

(7) 第7回吉備路の山全山縦走大会(盛重理事)

・3月20日(日) 開催 1,000名参加者予定

・チラシの参加申込書をハガキに貼って申し込む。ネット会員の方は、PDFでダウンロードして。

*12月10日実行委員会開催 ボランティア132名分担 バッチ、タオルデザイン決定。

(8) その他

*来年度以降の会費について、検討委員会を設けて文書にまとめる。次回理事会までにたたき台を作成する。*カレンダーについて価格を見直すべきとの意見があった。

今後の理事会日程

2022年 1月26日(水) 19時00分より

ゆうあいセンター(きらめきプラザ内)

2022年 2月22日(火) 19時00分より

ゆうあいセンター(きらめきプラザ内)

県連・各会 '22年2月～年3月 行事・山行予定表

'22年2月		(太字は県連行事)		'22年3月		(太字は県連行事)	
曜	予	定		曜	予	定	
1	火			1	火		
2	水			2	水		
3	木			3	木	友ヶ島(～4)(SCMC)	
4	金			4	金		
5	土	雪山初心者講習会(三平山)(SCMC)、 妹山～鷲峰山(KHC)		5	土	県連 50周年記念講演(講師:山本正嘉先生)	
6	日			6	日	怒塚山・金甲山・貝殻山・八丈岩山(SCMC)、 金ヶ谷～朝鍋鷲ヶ山(みまさか)、 擬宝珠山～象山(KHC)	
7	月			7	月		
8	火			8	火		
9	水			9	水		
10	木			10	木		
11	金	伯耆大山(みまさか)		11	金	深山公園(KHC)	
12	土			12	土		
13	日	総会兼ハイキング(THD)、善通寺・五岳山(KHC)		13	日	大山周辺:雪山講習(みまさか)、鷲ヶ頭山(KHC) 新龍アルプス(THD)、東お多福山・荒地山(NHC)、 天狗山/柿本公平さん追悼登山(SCMC)	
14	月			14	月		
15	火			15	火		
16	水			16	水		
17	木	沙美アルプス(KHC)		17	木		
18	金			18	金		
19	土	県連安全登山講習:雪山、蒜山三座(SCMC) 日本勤労者山岳連盟総会:東京都府中市		19	土	須磨アルプス(KHC)	
20	日	県連安全登山講習:雪山ビバーク訓練、 毛無山(KHC)、七宝山・&うどん山行(NHC)、 笠岡諸島巡り:飛島一周(SCMC)		20	日	第7回吉備路の山全山縦走大会、 大山周辺:雪山講習(みまさか)	
21	月			21	月		
22	火	県連理事会		22	火		
23	水	葦嶽山(SCMC)中止		23	水		
24	木	吉備の中山・吉備津神社(KHC)		24	木		
25	金			25	金		
26	土	鬼ノ城(読図)(KHC)		26	土	県連安全登山講習:雪上技術訓練、 六甲山縦走(～27)(KHC)	
27	日	由ヶ山・王子ヶ岳(みまさか)、ポンポン山(SCMC)		27	日	鬼ノ城山(みまさか)、黒滝山～白滝山(SCMC)	
28	月			28	月		
				29	火		
				30	水	女木島(KHC)	
				31	木		

<編集後記>

今年は、近年になく雪が多く降っています。岡山県北部でも大雪の日が多く通勤にも積雪が多く困っています。

また、山岳でも多くの事故が起きています。氷ノ山、八ヶ岳、富士山、金華山山などで遭難事故が起こっています。

雪山は、無雪期と違い事故が多く起きると思います。雨の日なら山に行かない人も雪山には喜んでいく人も多く、それは雨よりも濡れにくいと言ったこともあるのでしょうか？滑落、雪崩、ホワイトアウトのよる道間違いなど危険があります。雪山の怖さを知り楽しみましょう。(彦)